



篠小だより

～学ぶ つながる 篠原の子～

令和8年4月7日



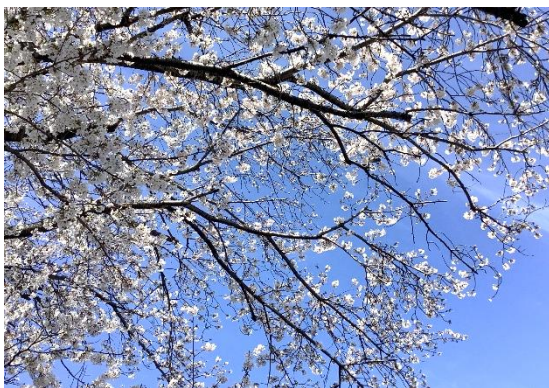
4月号

〒222-0022 横浜市港北区篠原東三丁目27番1号

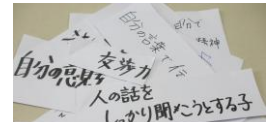
TEL045-401-9532

学ぶ つながる 篠原の子に ～思いをもつ力 かかわる力 やりぬく力を～

校長 岩元 カオリ



あたたかな日差しの中、校庭の桜の木は早くも満開となりました。お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。4月に入り、篠原小学校の令和8年度がスタートしました。新たに1年生**12**名を迎え、篠原小学校は**68**名での出発となりました。昨年度、篠原小学校は65周年を迎えました。気持ちも新たに、歩みを進めてまいります。



令和8年度、学校教育目標のサブテーマを刷新しました。それが

「思いをもつ力」「かかわる力」「やりぬく力」です。

昨年度末、子どもたちの幸せな未来を願い、全教職員で「子どもたちにどんな力(=資質・能力)を身に付けて成長して行ってほしいか」を話し合いました。私たち大人が育った時代とは違い、情報は手に入りやすくなっています。知識の量や暗記した記憶が学問の中心だったのは過去のこと、今、小学校では一人一台のタブレット端末が貸与され、「書いておくこと」「覚えておくこと」「調べること」は容易に進められるようになっていきます。そうすると、最低限の知識や正しい活用法は必要だとしても、そのうえで、いつどんな困難にであったとしても、それに対応できる力を身に付け、これからの時代を幸せに生き抜いて行ってほしい…。そのために、今、どんな力が必要なのだろうか。職員それぞれが画用紙に書いて持ち寄ったり、後から付け足したり、話し合う中から新たに思いついたりした「力」は全部で30余り、目標に向かって本気で取り組む力、柔軟に受け止める力、自分の「困っている」を自分で言える力、などなどでした。多くの教職員の願いは子どもたちの明るい未来です。この子たちが大人になるとき、今よりもよい時代になっているように。そのときリーダーとして活躍しているのは今の子どもたちです。どんな荒波も越えていけるよう身に付けてほしい力を最終的に三つにまとめました。それが「思いをもつ力」「かかわる力」「やりぬく力」です。子どもが自ら学び、生きる力を獲得していけるような教育活動を全教職員で推し進めてまいります。本校の教育活動へのご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【児童支援専任より】 児童支援専任は、お子さんの学校生活を支える「みんなの先生」であり、相談窓口です。様々な外部機関とも連携しています。

○スクールカウンセラー(SC)との教育相談の予約窓口

専門的な知識をもったカウンセラーが来校しており、保護者やお子さんが相談することができます。日程は学校だよりでお知らせします。

○お子さんの学校生活に関わる相談や支援の窓口

ちょっと気になるけれど誰に相談してよいのか分からない…そのような場合、専任が相談を受けることもできます。お子さんや保護者の方と話し合いながら、一緒に考えていきます。